

事業所における自己評価表（公表）

| 放課後等デイサービス清水高部スクエア トロフィーアップ高部A | | 公表日 令和7年年4月1日 | | | | | |
|-----------------------------------|---|---------------|-----------|-----|-------|---|---|
| チェック項目 | | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | 意見 | 工夫しているところ・課題や改善すべき点 |
| 1 | 事業所の設備等について利用者に合わせたバリアフリー等の配慮や定員に対して適切なスペースがとれていますか | 3 | | | | 十分なスペースがあり、バリアフリーにも対応していると思います。 | |
| 2 | 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保していますか | 3 | | | | | |
| 3 | 業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画できていますか | 2 | 1 | | | 目標や行動は取れているが振り返りの時間がなかなか取れていないと感じる | 日々の時間がかかっている業務を把握し合理化を進める中で時間を有効に使えるよう見直しを図る。 |
| 4 | アセスメントを適切に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画が作成できていますか | 3 | | | | | |
| 5 | 活動プログラムの立案をチームで行っていますか | 2 | | | 1 | 活動内容や支援についての話し合いを行い、統一した支援をするよう時間を作り立案していきたい。 | 日々の時間がかかっている業務を把握し合理化を進める中で時間を有効に使えるよう見直しを図る。 |
| 6 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し支援の検証・改善に繋げられていますか | 2 | 1 | | | 検証してそのままになりがちだと感じる。結果、改善まで話し合い取り組みたい。 | PDCAサイクルを意識した話し合いができるようファシリテーターが工夫していくように改善していく。 |
| 7 | 日ごろから子どもの状況を保護者様と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもって支援を行えていますか | 3 | | | | | |
| 8 | 支援の内容やお子様の日々の様子について丁寧な説明を行っていますか | 3 | | | | | |
| 9 | 保護者様からの子育ての悩みに対する相談に適切に応じ丁寧な対応をしていますか | 3 | | | | | |
| 10 | 保護者様に対しての言葉遣いや言い方の配慮は適切に行っていますか | 2 | | | 1 | 気をついているが使う言葉によっては、伝わり方が違うこともあるので、気をつけていきたい。 | |
| 11 | 個人情報の取扱いに十分注意をしていますか | 2 | | | 1 | | |
| 12 | 事業所内での体調の変化やケガ・外傷があった時に適切な対応と保護者様への報告をしていますか | 3 | | | | 怪我の状態、処置、報告を徹底し、保護者様にも伝えている。 | |
| 13 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出そのほか必要な訓練を行っていますか | 2 | 1 | | | 定期的に避難訓練を行っていると思います。訓練の回数は少ないので、もっと取り組んでいきたい | 総合防災訓練以外にも児童発達支援との合同訓練、活動の中でできる訓練について可能な方法を考え見直ししていく。 |
| 14 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を保持する等、適切な対応を行えていますか | 2 | 1 | | | もう少し話し合う時間を作れたらと思います。 | 月例の児発管会議の中で虐待防止についての取り組みの報告を行い危機意識が薄れない様に意識している。定期的に事業所が交わる合同イベントなどをを行い他の事業所支援員との交流の機会を持ち、第三者からの視点をもらう機会、思い込みの不適切支援にならないような環境づくりから虐待のない風土づくりに努めている。 |
| 15 | ヒヤリハット事例集を作成し事業所内で共有できていますか | 2 | 1 | | | | |